

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	建築設計特論B (Theory of the architectural design B)		
ナンバリングコード	R20210	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M002301	クラス名	-
担当教員名	西村 謙司		
履修上の注意、履修条件	建築設計に関する基礎的知識と技術を有すること。 建築設計に際して求められる言論や思潮と造形活動の関係を学びます。 テキストに即した柔軟な読解力と解釈力が求められます。 造形に関する基礎的素養が求められます。また、テキストの解釈を発表する機会を設けます。		
教科書	受講時に指定したテキストを配布する。		
参考文献及び指定図書	『ルイス・カーン建築論集』(鹿島出版会)、『建築制作論の研究』(建築論研究会編、中央公論美術出版)		
関連科目	設計製図1～5、住居論、日本建築史、建築計画、西洋建築史		

○基本情報	
授業の目的	建築学の中でも特に建築論・建築意匠分野という専門領域に焦点を絞り、高度な知識と技術に関する学修を行うとともに、建築設計に求められる言論を構築する文章力の基礎となる読解力、解釈力を修得します。
授業の概要	古今東西の建築設計に関する言論の中から重要なテキストを選定し、建築の言論と造形の関係を説明することを目的とした解釈を行います。 授業の中で、形づくられた建築物の意味の解釈について議論を行うなど、アクティブな授業として、建築設計の力を習得します。歴史的な存在として認められた建築家とその制作のあり方を学ぶとともに、制作を基礎づけている言論と造形のあり様の解釈を試みます。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「グループワーク」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	建築設計を行うにあたって、自らの問題意識を設定できていること。 テキスト解釈にあたって、自らの意見をコメントできること。			30点
【知識・理解】	建築設計に求められるコンセプトと造形の意味を解釈することができる。			30点
【技能・表現・コミュニケーション】	建築設計に際して独創的なコンセプトを構築し、造形できる。また、他人のコンセプトを尊重できる。		20点	
【思考・判断・創造】	歴史的文化的に構築された建築設計コンセプトと造形の意味を解釈し、再構築できる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
<p><成績評価のポイント></p> <p>1. 授業への取組姿勢 2. 授業の予習・復習の内容</p> <p><成績評価のための提出物></p> <p>1. 毎回の授業の予習・復習の成果をコピーし、整理し、表紙をつけ、一部に綴じてまとめ、16回目の授業までに提出。</p> <p>[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を特別優れて満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を優れて満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を良く満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。</p>	

○その他	
フィードバックは、適宜行います。	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	建築設計特論B (Theory of the architectural design B) 西村 謙司	授業コード	M002301
学修内容				
1. 授業の概要 授業で用いるテキストの概要説明。および、授業全体の枠組みと方針等、オリエンテーションとなる説明を行います。授業中に講義で使用するテキストを配布します。(以下、『建築設計特論B 講義テキスト』とする。)				
予習	建築設計論に関する既往研究の調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論B 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
2. 建築と言葉 その1 建築行為の基礎となる言論について説明します。『建築設計特論B 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論B 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論B 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
3. 建築と言葉 その2 建築行為の基礎となる言論について説明します。『建築設計特論B 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論B 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論B 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
4. 建築言論のひろがり その1 建築に関する言論の範囲について説明します。『建築設計特論B 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論B 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論B 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
5. 建築言論のひろがり その2 建築に関する言論の範囲について説明します。『建築設計特論B 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論B 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論B 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
6. 思索と詩作 その1 考えることと作ることの関係について説明します。『建築設計特論B 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論B 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論B 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
7. 思索と詩作 その2 考えることと作ることの関係について説明します。『建築設計特論B 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論B 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論B 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
8. 言葉の形式化 その1 言葉が形式化していくプロセスについて説明します。『建築設計特論B 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論B 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論B 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	建築設計特論B (Theory of the architectural design B) 西村 謙司	授業コード	M002301
学修内容				
9. 言葉の形式化 その2 言葉が形式化していくプロセスについて説明します。『建築設計特論B 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論B 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論B 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
10. 建築作品の意味 その1 建築作品の意味について説明します。『建築設計特論B 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論B 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論B 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
11. 建築作品の意味 その2 建築作品の意味について説明します。『建築設計特論B 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論B 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論B 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
12. 場所と空間 その1 場所と空間の意味について説明します。『建築設計特論B 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論B 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論B 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
13. 場所と空間 その2 場所と空間の意味について説明します。『建築設計特論B 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論B 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論B 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
14. 風景の現象 風景の現象について説明します。『建築設計特論B 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論B 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論B 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
15. 建築の場所論的構造 建築の場所論的構造について説明します。『建築設計特論B 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論B 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論B 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
16. 課題提出 授業の予習・復習の成果をまとめたもののコピー(表紙付・表紙に主題と各自の学籍番号・名前を記載)を提出。				
予習				
復習				